

# 国語科におけるメディア・リテラシー教育の 評価に関する研究ノート

—GCSE 試験問題 (AQA2012) についての事例研究—

砂 川 誠 司

## 1. はじめに

国語科におけるメディア・リテラシー教育研究は、映画やテレビなどの映像情報の真偽や価値を判定する方法や、映像と言語の組み合わせなどの創作活動による自己認識を促す方法などを開発してきたが、そうした方法を十分に機能させていくためには学習者の能力体系を評価する一定の指標が共有されていくことが必要であると考えられる。おそらくそれは、既存の国語の諸能力（たとえば文章の「読解力」や「表現力」）と相同性をもつものとして還元していくことのできる部分もあれば、できない部分もあるだろう。国語科に固有のメディア・リテラシーについて、その指標を把握していくことが大切であると考えられる。

メディア・リテラシーの評価ということに関して、後藤康志（2011）は課題文（表1）とその評価のルーブリックを提案している。また、森本洋介（2014）は「メディア・リテラシー教育のような教育活動における学習者を評価する場合、全体的な自己評価のような総括的評価だけでなく、作品づくりや実技試験に代表されるようなパフォーマンス課題による評価や、生活の自然な流れの中でインフォーマルに評価を行うといった形成的な評価、真正の評価の立場での評価方法が適当である（p.126）」とメディア・リ

アキコさんは、あるホームページでダイエット食品「ダイエットS」を見つけました。ホームページには、ある医学者の紹介文として「この食品はねだんが高いが、ダイエットの効果はある」と書いてありました。さらに実際にこの食品でダイエットに成功した3人の話ものっていました。そこへ、ケンタさんがやってきて、この情報が信頼できるかどうか確かめる方法を教えてください。ケンタさんになったつもりで「必要だと思われる情報」や「調べ方」を考えられるだけ書いてください。

表1 課題文（後藤 2011 より）

テラシーの評価に関する理論的なフレームを明らかにしている。これらの先行研究における指摘を踏まえ、表1のような課題とセットになった評価指標を共有していくことが国語科においても必要であると考えられる。

本稿では、すでに実施されている評価問題、具体的にはイギリスにおける GCSE の「メディア研究」(Media Studies) の問題についての検討を行い、国語科におけるメディア・リテラシーの評価について、今後の調査・研究のための覚え書きとして記しておく。

## 2. GCSE「メディア研究」の科目基準 (Subject criteria) について

GCSE は英国の義務教育修了段階の統一試験であるが、「メディア研究」は選択科目として用意されているものである。この科目名は作成する団体 (Assessment Board) によっては「メディアとコミュニケーション」(Media and Communication) という名前にもなるが、中身については、政府機関 (Ofqual) が発行する「科目基準」に準じる必要があるため、その範囲内での問題が出題されていることになるので、団体相互に問題作成の主旨に大きな違いはないものとみられる。「メディア研究」についての「科目基準」に示される「目的と学習の成果」は以下の通り。

- ・学習者たちと彼らが生きる世界にとって、重要かつリアルな関連の諸課題を熟考することを通じて、探求、批判的思考、そして意思決定スキルを伸ばすこと。
- ・メディアについての認識と批判的理解、そしてメディアが学習者たちの日常生活に果たす役割の理解を発達させること。
- ・個人的な関与と創造の機会を通じて実践的スキルを発達させること
- ・メディア制作物とそれらの様々なコンテキストを分析するために、主要なメディア概念の用い方を理解すること

Ofqual (2011) *GCSE Subject Criteria for Media Studies*, p.4

メディア研究にあってはまずもって日常生活を生きることに資する力が大切にされている。「生きる世界にリアルな課題」について考えることは、先の森本 (2014) の引用にもみた大切な考えである。日常生活に入り込む考え方のイデオロギーは批判的に理解しなければならないということ、しかしそれは、それなしでは生きていくこともできないのだということがこうした見解の土台を構成している。「学習者たちの非公式な学習やメディアに関する先行する経験をもとに構築すること」(Ofqual) とあることも、そのような考えから生まれるものであろう。また、個々人がメディア作品を創作することや、創作を通じてメディアのコンテキストを理解していくということも、英国におけるメディア教育研究の影響が強くうかがえるところである。

さらに「科目基準」では、求める知識、能力を次のように定めている。

| 知識・理解   | 能力  |
|---|---|
| ① メディアの諸形式、諸コードと諸慣習はどのように意味を作っているか；<br>② メディアの表象；<br>③ メディア制作物のコンテキスト、流通、消費；<br>④ 異なるオーディエンス／ユーザーがメディア制作物やその過程にどのように反応し、関わりあうか；<br>⑤ 彼らの実践的制作活動を知らせるメディア制作物、コンセプト、コンテキスト；<br>⑥ メディアテクノロジー；<br>⑦ 最低限3つの異なるメディア（少なくともひとつは印刷物、オーディオビジュアル形式のものをふくむこと） | ① 主要なメディア概念や専門用語を用いて、メディアのテキスト／話題を分析したり反応したりする；<br>② 調査し、計画を立て、メディア制作物を構築し、そしてそれらの制作物や過程を評価する；<br>③ 根拠に基づいた考えや議論を生み出す |

表2 GCSE「メディア研究」が求める知識・理解と能力

メディア教育のカリキュラム作成に参照されることの多い David Buckingham (2003) の掲げるメディア・リテラシーの主要概念が「制作」「言語」「オーディエンス」「表象」の4つであるのに対して、経済・流通の観点からの理解とテクノロジーについての理解が求められていることに特徴がある。おそらく、GCSE 修了後、その資格をもって就職する学習者がいることや、現代の ICT 環境におけるテクノロジーの発展についての理解がメディアを理解する際の重要度を増していることなどの事情がこのあたりには含まれているのではないかと推測される。

以下、本稿では AQA (Assessment and Qualifications Alliance : 評価と資格の団体) の問題を扱う。これは、AQA が公表している資料が充実しているためである。

### 3. AQA 「GCSE メディア研究」(2012 年) の事例研究

#### 3-1. Unit 構成について

メディア研究は Unit1 ~ 4 の4つのまとまりで試験が行われる。Unit1 と2だけを受験して合格すればメディア研究の修了認定(例えば「Media Studies A」のように)が受けられる。それに加えて Unit3・4を受験して合格すれば、メディア研究の修了認定が2つ授与される(例えば「Media Studies A/A」のように)。

Unit1 と Unit3 は外部評価である。これは学校の外部に採点者を置いて実施されるものであり、試験時間(どちらも1時間30分)を定めて実施される標準的なペーパーテストである。Unit2 および Unit4 は制御評価(Controlled Assessment)と呼ばれるもので、学習者は GCSE コースが実施される KS4 の2年間での学習のポートフォリオを作成し提出する。提出の際には、学校の教師による評価も一緒に提出される。制御評価と外部評価の全体に占める割合は制御評価の方が高く、2年間での学習の積み上げ全体の評価にある程度の重みがつけられていると考えてよい。

森本(2014)の指摘するように、メディア・リテラシーではパフォーマンスの質を問うような「真正の評価」を求めること、あるいは Buckingham (2003) の指摘するように創作の活動がメディア・リテラシーを育むうえでは大切であるということを踏まえるならば、Unit2 や4についての検討を行う必要があるが、教育方法と分離したかたちでの評価指標について考えるならば Unit1 および Unit3 の検討が妥当であるとする。後に見るように、Unit1 については試験の約1か月前からの準備が必要であり、パフォーマンスを示すことを課す問題が出題されていることなどから、パフォーマンス課題についても Unit1 の検討によってある程度の評価基準の検討が可能である。以下、Unit1 に出題されている問題を中心に考察を記す。

#### 3-2. Unit1 「メディアの調査」について

Unit1 は「メディアの調査」(Investigating the media) と題する試験であり、試験前に配布された予告的内容を伴うペーパーをもとに、解答者が調査・研究を行うものであ

る。本稿執筆時点で問題が公表されている 2012 年～2014 年の 3 年間ではいずれも、受験者のアイデアを募集するという主旨の案内文書である。例えば E メールで受信したという体裁のものや、Twitter のつぶやきからリンクをたどったという体裁をとるものであった。あくまで試験のための疑似的な案内文書であるが、このあたりにもリアリティのある文脈を生かそうとする意図がうかがえる。表 3 に、近年の Unit1 における事前配布ペーパーの内容をまとめたが、本稿ではこのうち、比較的国語科の色彩の強い問題と考えられる 2012 年の問題を中心に考察を行う。

2012 年の事前配布ペーパーは、テレビの専門チャンネル「ザ・犯罪チャンネル」のプレスリリースとして、刑事ドラマの筋書きコンペティションの開催を知らせるものである(表 4)。出題者からのメッセージが冒頭の数行に書かれ

|                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 2014 年          | ビデオゲームのプロモーションとマーケティング |
| 2013 年          | 音楽雑誌：印刷とオンライン          |
| 2012 年          | テレビ番組の刑事ドラマ            |
| 2011 年          | アクション冒険映画              |
| 2010 年          | リアリティ・テレビジョン           |
| 表 3 Unit1 のトピック |                        |

ているがそれ以外は「ザ・犯罪チャンネル」から届いたメールでのプレスリリースそのものとして示されている。「ザ・犯罪チャンネル」は架空の番組であるが、「一般家庭向け」の番組制作であることや「放送分岐前 (pre-watershed)<sup>1</sup>」への適合、あるいはマーケティングにおける「新しいインターネットメディアの可能性」への言及に関しては、現実的な番組制作現場での課題として立ち上がるものであると考えられる。こうしたペーパーによって、回答者たちの創作に一定の方向づけが施される。整理するならば、

- ① ストーリー展開に言及すること
- ② オリジナルな登場人物を創作すること
- ③ ターゲット・オーディエンスの設定
- ④ 「刑事ドラマ」というジャンルの理解を示すこと
- ⑤ メディア産業についての理解を示すこと

ということになる。①や②は、「刑事ドラマ」というジャンル、もっと言うと「物語」が話題として選ばれているために設定されている観点である。このあたりは国語科の学習とも深く関わる部分であると思われる。ただし試験で扱われる話題は毎年変わり<sup>2</sup>、それぞれのジャンルで求められる知識は毎年変わるものであるため、メディア教育そのものの評価基準としてジャンル固有の知識を挙げることはできない。さまざまなジャンルを横断する普遍的な能力を求める前に、個々のジャンルにおける固有の能力を身につけていくことが求められるのである。ちなみに、このペーパーが配布された後に受験者はそれぞれ自らの作品構想を練ることになるが、その際の指導については公式には行ってはならないことが AQA から指示されている<sup>3</sup>。あくまで非公式の指導であるよう指示されるが、実際の指導がどれくらい学習成果として反映されるか、その程度については指導によって変化するものと思われる。

以上のように事前配布された案内にしたがって 4 週間準備したのち、ペーパーテスト

あなたはこのプレスリリースを受け取りました。それはEメールで国営放送局や地域放送局に、そして大学や学校に送られてきた、刑事ドラマの創作コンペについての招待です。ザ・犯罪チャンネルは衛星放送とケーブルテレビで刑事ドラマを放送する専門チャンネルです。

ザ・犯罪チャンネル

www.thecrimechannel.co.uk

2012

年5月14日

プレスリリース

ザ・犯罪チャンネルは新コンペを開催いたします。

刑事ドラマはお好きですか？あなたはセンスのある作家ですか？あなたの刑事ドラマをテレビで見たくはないですか？富と名声を可能にするわくわくするコンペに参加するチャンスがここにあります。ザ・犯罪チャンネルは新しい連続テレビ刑事ドラマのアイデアを募集しています。それは来年、一般家庭向けに放送される予定です。コンペは本日、公式に募集を開始し、2012年6月14日（木）に応募を締め切ります。

本チャンネルの構成作家レーガン・カーターは、「私たちが求めているのは試験的エピソードに対するアイデアだ。続くシリーズがたくさんの人にウケて成功することを期待している」と言っています。また、「この試験的エピソードはサスペンスに満ちたストーリー展開にしなければならない。リアリティのある設定のなかで事件が起き、何よりも説得力のある面白い人物が必要だ」とも言っています。

「もし試験的エピソードの人气が一般家庭で出れば、来年の早い時期に放送する6番組でシリーズ放映するつもりだ。この新シリーズでは刑事ドラマというジャンルにあるあらゆる最善の特徴を見せたい。ある者はオリジナリティの欠落だと言い、主演が飽き飽きするステレオタイプだと言うだろう。しかし、私たちは刑事ドラマがいまだとても人気のあるということを視聴率から知っている。試験的エピソードを投稿する際には、このことを心に留めておきなさい。」

コンペへの参加には、一般家庭の視聴者の放送分岐前（pre-watershed）に適合する必要もあります。「多くの刑事ドラマは一般家庭では受け付けられないようなかなり不愉快な主題を扱っているので、アドバイザーとしては、適切な内容について考えることです」と、カーターは説明します。

広報の材料はどんな新番組の開始にも重要なことですので、この新刑事ドラマをどうやって広報すべきなのかということについての提案もしてほしいと思います。マーケティングの成功を導く方法の一部として、新しいインターネットメディアの可能性を開拓することを私たちは切に願っています。

覚えておいてください。いまから4週間しかありません。最終的な助言は回答を短く集中させておくことになっています。図表やイラストを用いることができますが、あなたのアイデアをサポートするのにふさわしいたくさん事例の提供を忘れないでください。

さあ、あなたの想像力を使うこと、そしてテレビの刑事ドラマについて知っていることを示すこと、それ次第です。出演者と会う日、これは新たな経歴のスタートになるでしょう。勝者に幸あれ！

詳細を知りたい方は rcarter@thecrimechannel.co.uk まで問い合わせください。

表4 AQA2012のUnit1における事前配布ペーパーの内容

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 01                         | <p>私たちは、成功するテレビ番組の刑事ドラマには重要な特性があると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サスペンスに満ちたストーリー展開</li> <li>● 説得力のある登場人物</li> <li>● リアリティのある設定</li> </ul> <p>あなたの調査から引き出される番組についての事例を用い、これらの特性それぞれが視聴者をどうやって惹きつけるか示さない。</p> |
| 02                         | <p>あなたの試験的エピソードが成功することを私たちに納得させなさい。以下のことに対するあなたのアイデアを知らせること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切なタイトル</li> <li>● 主な人物二人のプロフィール</li> <li>● 主な設定の詳細</li> <li>● 可能性のあるストーリー展開のアイデア</li> </ul>                          |
| 03                         | <p>試験的エピソードを広報するひとつの方法は、ウェブサイトを通じて行うことです。あなたの試験的エピソードについてのホームページをデザインしなさい。同封のA3シートを用いること。</p>   |
| 04                         | <p>ウェブサイトに加え、私たちの新しい刑事ドラマを広報する三つの異なる方法を提案しなさい。少なくともひとつの提案には新しい電子メディアを採用しなければなりません。各提案の利点をどう考えるか述べること。</p>   |
| 表5 AQA2012 メディア研究 Unit1 問題 |   |

での試験が行われる。2012年の問題は表5の通り。サンプル回答（グレードAのもの：実際の受験者が回答したもの）と合わせて検討を行う。

問いは全部で4問あり、03以外は記述式の回答を求めるものである。03はホームページのデザイン草稿をデザインすることを求めるものである。試験時間は90分で、各15点の60点満点である。

### 3-2-1. 問01

問01はコンペティションの案内を受けて、どのような刑事ドラマを考えたかを提示するものである。条件が3点（ストーリー展開、登場人物、設定）示されており、それに従った記述が求められる。この条件は物語の構成要素としては欠かすことのできない基本的な要素である。国語科的な学習の発展をこのあたりにうかがうことができる。条件として示されているものは事前配布ペーパーに示されていたことがらが中心である。そのため、事前配布ペーパーの文言を理解していたなら回答が比較的容易なものになると考えられる。

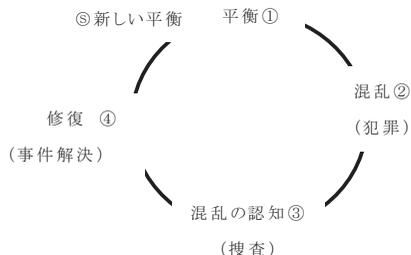
公開されているサンプルの回答（表6）は、グレードAのもの、つまりよくできた解答である<sup>4</sup>。90分の時間制限のうちの4分の1を占める記述回答がこの分量であることかなりの記述力が求められていることがうかがえるが、これについては記述ということに関する社会文化的背景からの考察が必要である。ストーリー展開について、まず「刑事ドラマ」をいかに構成すべきかという点についての理論的な見解が示している。理論としてはツヴェタン・トドロフの「平衡理論」なるものが図とともに紹介されるが、その詳細な解説までは行っていない。トドロフの理論を理解し表現するだけでも高い学習成果と言えるが、この点について採点者は全体的によくできているとしながらも、「ト

私にアイデアを示すこのような機会を与えてくれたカーターさんに感謝いたします。私は〇〇で、私の会社「刑事ドラマストーリー展開」を代表して書いています。

ナレーションは刑事ドラマの重要な特徴であり、成功を収め視聴者の目を向けさせるためにしばしば同じ特徴が用いられます。

サスペンスのストーリー展開の一例は、BBCの「シャーロック」です。このプロットには数個のナレーションによる謎めいた言葉(enigmas)と補足があります。それは視聴者を各放送回に釘づけにさせます。そのとき番組は最先端であり、これまでにあった主要な〇〇に依っています。

彼はドロフの理論「平衡(equilibrium)」に基づいています。



これはツイストやターンをするダンサーに、留まることの趣を与えるために補足や謎めいた言葉を可能にします。

### 登場人物

主人公は、精神的、あるいは身体的レベルで視聴者となってきた人物です。『ヴェラー信念の女警部一』における強い女性の役割を見ることから視聴者が得る年齢と満足は、『ダークジェントリー』の喜劇スタイルとは異なる対象の視聴者をひきつけます。

登場人物は他の登場人物と関係を変化させたり喚起させたりするとき、さらにリアルになります。「シャーロック」に戻り、シャーロックとドクター・ワトソンの関係です。彼らの連携の関係は視聴者を釘づけにさせ、各エピソードの後に「休息」とする登場人物の結びつきは、彼らをさらにリアルにみえるようにするのです。あるいはその関係は絶対に変わりません。また

恋愛の興味もまた、長期的な視聴者にはあります。特に、『バーナビー警部』やアガサ・クリステイの『ミス・マーブル』などの番組の女性視聴者です。

### 設定

場所の感覚は番組を活性化させ、そして地域とのつながりは番組のリアリズムを高めます。

『ルイス』はオックスフォードをかなり使った設定です。それは番組に建築物の長時間撮影の場面をもたらします。このことは視聴者に、特にロンドンやオックスフォードなどの歴史的建造物のある場所での設定ならば、番組がつながりやすいものだと感じさせます。

このことが明確な作品は、一例としてITVの『ヴェラー信念の女警部一』です。ドラマチックな北東部への観光は、最初のシーンの放送後、30%以上の旅行者の増加を伴って増えています。

表6 Unit1問01に対するサンプル回答(二重線は原文ママの翻訳)

ドロフの理論を参照することについての確かな理解が必要である<sup>5</sup>とコメントを記し、15点満点中の14点を与えている。その内訳はAO1が9点、AO3が5点とあるが、AO (Assessment Objectives) の内容については、Ofqual が提供し、AQA がさらに詳細なルーブリックを作成するものである(表7)。サンプル回答 AO1 は9点なので、レベルとしては最高の6が与えられる。

| レベル | <p style="text-align: center;"><b>AO1</b></p> 受験者が作り出し消費するメディア制作物やそのコンテクストについて、彼らの知識や理解を思い出し、選択し、そしてやりとりする。                     | 配点   | <p style="text-align: center;"><b>AO3</b></p> 調査、計画、プレゼンの諸能力を示す。                                      | 配点 |
|-----|---|------|---|----|
| 6   | 3つのポイントすべてに言及した、刑事ドラマの性質についての優れた (Excellent) 知識<br>回答は、最低3つの精選された事例によって支えられている<br>刑事ドラマの魅力の優れた理解が示されている                         | 9-10 | 回答はとてもよく (well) と構成され、オーディエンスのニーズを満たすよう見事に (skillfully) 形成されている。<br>書かれた表現は、さまざまな専門用語を適切に使い、正確で明快である。 | 5  |
| 5   | 2つかそれ以上のポイントに言及した、刑事ドラマの性質についてのよい (Good) 知識<br>回答は、2つかそれ以上の関連する事例によって支えられている<br>刑事ドラマの魅力のよい理解が示されている                            | 7-8  | 回答は明快に (clearly) 構成され、オーディエンスのニーズを満たすよう形成されている。<br>書かれた表現は、主に専門用語を明快に用いている。                           | 4  |
| 4   | 少なくとも2つのポイントに言及した、刑事ドラマの性質についての満足な (Satisfactory) 知識<br>回答は、少なくとも2つの事例によって支えられている<br>刑事ドラマの魅力の満足な理解が示されている                      | 5-6  | 回答は適切で明快である。概して目的を満たし、大部分はオーディエンスのニーズを満たしている。<br>書かれた表現は概して明快でありいくつかの専門用語を用いている。                      | 3  |
| 3   | 1つかそれ以上のポイントに言及した、刑事ドラマの性質についての基礎的な (Basic) 知識<br>回答は、(いくつかの) 事例によって支えられている<br>刑事ドラマの魅力の基礎的な理解が示されている                           | 3-4  | 回答は全体的に正確ではない。いくつかの試みがオーディエンスのニーズを満たすために行われている。<br>書かれた表現は全体的に効果的ではない。                                | 2  |
| 2   | ポイントに言及する、あるいはしていない、刑事ドラマの性質についての限定的な (Limited) 知識<br>回答は、2かそれ以上の関連する事例によって支えられている<br>刑事ドラマの魅力の限定的な理解が(いくつかの) 事例を通して示されているようである | 1-2  | 部分的な回答がオーディエンスのニーズを満たすよう試みられている。<br>書かれた表現はかなり制限されている。  | 1  |
| 1   | 点数を付与する価値のない記述  | 0    | 点数を付与する価値のない記述  | 0  |

表7 Unit1 のルーブリック<sup>6</sup>

AO1 においては、3つの観点（特定のメディア特性の理解、事例、特定のメディアの魅力の理解）でループリックが記述されている。事例や知識などが明確に示されることが重要である。例えばサンプル回答では登場人物や設定の記述のために多数の番組名（実際にイギリスでかつて放送されたテレビ・ドラマ）が引用されており、それらについての考察が記述されているが、こうした書きぶりが求められるということである。4週間のうちの調査がこの記述を支えるものとなろう。

Unit1のような記述式の解答の評価基準は表7のようなループリックによって明確に規定されているというように考えることができるが、そのレベルを分ける基準は例えば「優れた」「よい」「満足な」「基礎的」「限定的」といったものであり、そのニュアンスを採点者がいかに捉えるかによってレベルの判定に差が生じるものでもある。パフォーマンス課題であり、単に正誤を判定するものでない以上、このように確固たる線引きのできない基準となることは妥当であると考えられる。

### 3-2-2. 問02

02は受験者自身が構想する刑事ドラマの筋書きについて記述するものである。回答のための条件は4つ（タイトル、人物設定（2人）、詳細な設定、および展開例）である。この問題の評価対象はAO1、AO3、AO4（作品制作能力とその自己評価能力）の三つが設定されている。各評価対象の最高レベル（「6」）のみ表8に示す。

| AO1(5点)   | AO3(5点)   | AO4(5点)  |
|---|---|--|
| 幅広い知識と理解の深さが優れている<br><br>技能を用いて幅広い内容と概念を取り扱っている | 自立していて才能のあることが示される。素材がうまく計画され、オーディエンスのニーズを満たすために明確で巧みに仕立てられている<br><br>書かれた表現は、さまざまな専門用語を適切に使い、正確で明快である。 | 作品は創造的であり、選んだ媒体を用いた活動において才能が示される。<br><br>評価には説得力があり、主要概念を用いた批判的な関連を作成している。 |

表8 Unit1問02のループリック(レベル6のみ)

問01と比べるなら、AO3の存在が特徴的である。これは問01と比べて理解よりも表現に重点を置いた問いであるからである。サンプル回答（表9）では簡単な絵を付け加えて説明をしているあたり、創作的であることを示す工夫がなされている。この問題では、事前配布ペーパーで指摘されていた、「刑事ドラマというジャンルにあるあらゆる最善の特徴を見せたい」ということをいかに理解しているかが重要であると考えられる。この指摘に導かれ、オリジナリティの高い作品を生み出すことよりも、当該ジャンルについての受験者の持っている知識を問うことができるからである。メディア教育においてはイデオロギーについての理解が重要な教育内容であるが、この問題においてイ

デオロギーに関連する内容が直接的に問われることはなく、創作されたもののなかを示されるのみである。したがって、自らが関わりあうイデオロギーについてメタ的に捉えているかどうかという点については問われないことになる。メディア・リテラシーの評価基準作成にあたって、この問題は課題として残るが、サンプル回答のなかでは、イデオロギーの認識に触れた記述がみられる。例えばサンプル回答であれば、イヴ・ブラックという女性の名前が聖書に由来するものであることの記述や、「男性の視聴者にも魅力的な人物」、「若い女性にとっての良いモデル」であるという記述は、いくらかそのような表象がテレビ・ドラマの表象における典型を示すものであると理解しているだけでなく、その効果について自覚的であることを示すものである。こうした記述が創作的行為のなかで生まれ、明確に認識可能なもの、批判的な振り返りが可能なものとして立ち上がってくるという点は、問02の作成において意識されているものと考えられる。

ちなみにサンプル回答はAO1 / 4点、AO3 / 5点、AO4 / 4点の合計13点の回答であるが、採点者のコメントからはAO1とAO4が満点でないことの指摘を知ることができないため、その理由は不明である。

刑事ドラマ社です。私たちは放送分岐前の一般家庭向けのリアルな設定、オリジナルのストーリー展開をもつ番組の独自アイデアを考案いたしました。

その番組名は「イヴ」です。伝統的な刑事ドラマのハイヴリッドで、スパイ／スリラーの側面もあります。私たちはBBIのプライムタイムテレビジョンで放送を予定しています。

‘イヴ・ブラック’ -24歳。色っぽく、短い黒髪を持ち主。正体不明。二重スパイ。曖昧。



イヴは主人公ですー強いリーダーシップのある女性で、女性のポジティブな表象をもたらします。また、一部の一般家庭の視聴者もひきつけます。

「イヴ」という名前が番組タイトルになっています。なぜなら彼女は主人公ですが、第二の性格を持っているからです。聖書的にはイヴは神から落とされましたが、イヴ・ブラックもまた同様です。これは視聴者に無意識のうちに受け入れられるでしょう。

彼女はまた、男性の視聴者にも魅力的な人物です。しかしまた若い女性にとっての良いモデルをもたらします。

‘マーカス・ハッチャー’ -27歳。髪型の魅力的な男性。



この人物は典型的な「ヒーロー」です。イヴがヒーローの役割を満たすのですが、彼女のような悪役もまた、殺人者であり探偵でもあります。これは彼女が人を惑わすような多くの情報にマーカスを導くようなたくさんさんのサスペンスを可能にします。

マーカスはまた、イヴの恋愛対象でもあります。それはより多くの視聴者を番組に引き入れ、一般家庭での視聴に良く、そしてコミカルな場面 (comic relief) を一度にもたらします。

設定は主にロンドンで行う予定です。これは●●と○○を意味しています。それは番組を感じられるパーフェクトな場所です。大都市の感覚が理解されてほしいと思います。大都市は視聴者を番組に関与させ、番組を生きたものにします。

しかしながら、これとは対照的に、時には、あるエピソードではイヴは街を出て田舎へと行きます。このことはもっと多くのインターネット上の視聴者をリアルな設定に繋げることでしょ。

※

番組についての主要なアイデアは主人公であるイヴ・ブラックですが、彼女はMI6の覆面暗殺者であり、殺人とその解決の両方に携わる人物です。実際に彼女は事件に関与する人物についてしばしば話します。

彼女は覆面の警部補なので、探偵の感じる「一匹狼」が分かるけれども、マークス・ハッチャーは彼女と一緒に働く本物の警察官であり、相棒的なコンビネーションを得るためにしばしば彼女を助けます。大きな事件に対する探偵のアンサンブルはめったにありませんが、それはプレッシャーや緊張が高まる感覚をつけ加えます。

一般大衆の視聴者、そして放送分岐前の時間帯のために、血はほぼ、あるいは全く出てきません。また、どんな暴力も長回しやクイックカットのほめかしていません。

表9 Unit1問02のサンプル回答(●●、○○は読取困難のため伏字にて翻訳)

### 3-2-3. 問03

問03は文章の記述というスタイルをとらないため、他の問いとは質の異なるパフォーマンスを求めるものである。ホームページのデザインという体裁であるが、試験ではA3用紙に要素を配置していくかたちで回答することになる。この問いのループリック(レベル6のみ)は表10に、グレードAのサンプル回答については表11に示した(サンプル回答は本稿では示しきれないため、構成のみ。AO1/4点、AO4/9点)。

基本的に問01、問02と同様に基本的な知識理解(この場合ホームページデザインについての知識理解)が特定のジャンル(刑事ドラマ)と関連してどの程度であるかが測られる。評価者のコメントには「課題では求められていない考えの説明がわずかに邪魔」であること、そして「この生徒には犯罪チャンネルがプレスリリースにおける機関名であり、BBCではないことに注意を向けさせることが有益であったかもしれない」と記されている。コメントを踏まえるならば、放送局としてのホームページのようにデザインされている点が若干の減点対象となっていることがわかる。ただしこの点は大きな減点ではなく、あくまでホームページデザインに関する知識が刑事ドラマというジャンルにどう反映することができるかという点が評価されている。サンプル回答を見る限り、ホームページに掲載すべきコンテンツを提示することがポイントのようである。そのコンテンツは何も奇抜なアイデアを含むものでなくてもよい。AO4の説明にも「実現可能な」と書かれているように、既存のコンテンツ構成について理解していることが重要とされる。問02がそうであったように、問03においても、既存のコードに対するメタ的な認識の有無について直接的には問われないものである。問02と問03は物語のデザイン、ホームページのデザインというかたちで表象形式が異なるものの、求められる思考は同様のものと捉えられる。

| AO1(5点)  | AO4(9-10点)   |
|--|--|
| <p>回答は、ホームページデザインの慣習についての優れた知識と理解を示している。その知識や理解はそのジャンルとオーディエンスにとって全体的に適切である。</p> <p>ホームページと試験的エピソードとのあいだに想像的で巧みなリンクがつけてある。</p> | <p>生徒は、作品とオーディエンス双方の目的に全体的に見合う実現可能なデザインを提示している。</p> <p>そのデザインにおける、創造性、才能、想像力の証拠は、説得力のある衝撃を与えらると思われる。</p> |
| 表10 Unit1問03のルーブリック(レベル6のみ)  |  |

|  |  |
|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           タイトル<br/>副題         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">子どもの犯罪</p> <hr/> <p style="text-align: center;">犯罪を解決せよ!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p style="text-align: center;">クイズ<br/>2問</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">事例ノート</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">最新ニュース</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">記事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">記事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">記事</div> </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">Twitter フィード</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center;">事例ギャラリー</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">画像</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">画像</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">画像</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文字</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文字</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">画像</div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p style="text-align: center;">オンライン・ストア</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">クリップ・ギャラリー</p> </div> </div> |  |
| 表11 Unit1問03のサンプル回答(構成のみ抜粋)  |  |

### 3-2-4. 問04

問04は新たなメディアについての理解を求めるものである。問01、問02同様、記述式の回答を求めるこの間のルーブリック(レベル6のみ)は表12に、グレードAのサンプル回答については表13に示した(サンプル回答はAO1/10点、AO3/5点)。

AO3の記述に関しては問01と全く同じであるため、違いはAO1のみにある。そしてAO1は知識理解を中心とした評価対象であるため、いかに広告の方法について知っているかが評価されることになる。サンプルは満点の内容であり、各メディア(Twitter、新聞記事、ブログ)の利用価値に言及することで満点が得られるものとなっている。

| AO1 (9－10点)                      | AO3 (5点)                                 |
|----------------------------------|--|
| 新しい電子メディアを含む全体的に適切な3つの提案がなされている。 | 回答はとてよく構成され、オーディエンスのニーズを満たすよう見事に形成されている。 |
| 各提案の利点について優れた理解が示されている。          | 書かれた表現は、さまざまな専門用語を適切に用い、正確で明快である。        |
| 表12 Unit1問04のルーブリック(レベル6のみ)      |  |

はじめに、Twitterのフィードをイヴ・ブラックのアカウントで設定します。これは次のミッションのヒントになると思います。彼女のマーカス・ハッチャーとの関係もまた然りです。それはまるでMI6の事件ファイルに報告をするようなスタイルでなされます。

これに加えて、結末はほとんどの場面で予測されますが、まるで本当の最高機密のように、隠されるか妨げられます。

ネクスト・ターゲット：■■■■番。場所：■■■■道路。

これはTwitterでやりとりする視聴者をからかうのにとてもよい方法です。そして本当に人々を次のエピソードを楽しむようにさせます。

私たちが用いることができるもうひとつのメディア形態は、新聞を作るか、よく知られた新聞か出版物に記事を書いて広告することです。金銭的理由から、私は後者を提案します。ここ、刑事ドラマ社は自社で印刷部門を組織する予定ですが、まだできていません。

この新聞記事はウェブサイトとリンクし、ニュースのレポーターの視点から書かれ、番組を本当に生きているものと感じさせます。それはまた、人々の注目をさらに引き出し、より多くの人の興味を得るでしょう。

私が扱いたい最後のメディア形態は、オンラインのブログです。それはイヴと共に仕事する秘密機関MI6の視点から書かれます。

これはブログがミステリアスに書かれることで、緊張とサスペンスを付け加えます。「機関1」は結局番組のリアルな一部であるということがわかり、イヴがどうやって新たなミッションを受けるかということとつながっています。

これはファンたちに次の番組の「内側の目(inside scope)」を与える方法となるでしょう。そして、概して人々の興味を引き続け、各回の興奮を持続させるでしょう。

再度、このような機会をもたらしてくれたカーター氏に感謝申し上げます。連絡いただけることを期待しています。

→W○○○○J○○○○

→刑事ドラマ社

→w\_j○○○○@crimedramainc.co.uk

→2012年5月14日14時45分 Eメール送信

表13 Unit1問04のサンプル回答

### 3－3. Unit3「メディア産業の探求 (Exploring Media Industries)」について

ここまで外部評価はUnit1の問題とその評価についてみてきたが、外部評価にはUnit3もある。それはUnit1同様、標準化されたテスト(ペーパーテスト)であるが、Unit1とは異なり、試験当日に問題と出会う(事前配布ペーパーがない)最も一般的な

標準テストである。問いは全部で15個あり、前半10個は短文記述のセクションA、後半5個は資料読解に基づく長文記述のセクションBに分かれる。Unit1と同じく、全問記述での解答を求めるものである。セクションAは「メディア産業の探究」とあるように、メディアの生産・流通に関するいくつかのトピックで構成されている。整理するとそれは、

1. オーディエンスとメディア制作物
2. 所有権、規制、金融
3. 実践活動と仕事のルール
4. 規則、そして倫理的／法的制約
5. 技術の進歩

となる。2012年の問題だけでなく、2013年、2014年もすべて同じトピックで構成されているため、この枠組み自体は変化の少ないものであることがわかる。

これらの問いの背景となっている学問は明確にマス・メディア研究であると考えられる。かなり実学寄りの問いである。Unit1ではメディア分析やメディア創作の理論などを求めるため、その背景にはメディア研究やカルチュラル・スタディーズの影響をみることができるが、Unit3ではそのあたりの知識はあまり問われることはない。Unit3のような問いが義務教育修了段階の試験として構成される学問的基盤の形成は十分検討できていないため今後の課題としたいが、Unit3のような問いを含めて「メディア研究」の試験としていることは、国語の学習という側面から考えるときにも一定の示唆をもたらすかもしれない。

それは国語科で学習する対象であっても、メディア産業との関わりのなかから生じるものであるという認識を教師がいかにもつことができるかということであろう。純粋な内容的価値のみでテキストが流通することはありえない。書店に並んでいる本や、インターネットの書籍販売サイトから推薦されたりする本はあくまで消費者の購買傾向の調査の上に成り立っている。教科書に採用される文章であってもそうした観点からとらえることができるということである。また、Unit3が解答を求める産業は学習者自身が利用する産業であるという意味で同時代性の高いものである。ItunesやTwitterなどについての言及は同時代的な産業構造をいかに理解しているかを示すものであると考えられる。

メディアの生産・流通システムへの理解までを含めて、「メディア研究」のGCSE資格が与えられるということは、国語科におけるメディア・リテラシー教育の評価を考えるにあっても、産業的な構造からの読み解きが評価対象として立ち上げ可能であると捉えることができるだろう。

#### 4. まとめと今後の課題

本稿では、すでに実施されている評価問題であるAQAのGCSE「メディア研究」

(Media Studies) の問題について、標準化されたテストの在り方を考えるため、とくに Unit1 を中心にその問題と評価についての検討を行ってきた。

Unit1 の問いは記述式、あるいはデザインというかたちで表現することを求める問題であるが、評価される中心はあくまで表現されるメディアに対する知識理解のあり方であった。そして、その知識理解はメディア・リテラシー教育が目標とする批判的な思考を直接的に問うことから判定するようなものではない。あくまで創作的な活動を行わせるなかで、提案の「効果」の記述として現れるのみである。したがってそれらに対するメタ的な認識がどのようなものであるかは明確に問うてはいない。この点をいかに捉えるかは大事な観点になりそうである。なぜなら、例えば後藤康志 (2011) が示している「尺度」はメタ的な視点からメディア・リテラシーを測定しようとするものであるからである。メディア・リテラシーの測定は「批判的」であるという状態についての見解によって評価すべき対象に差が生じることになる。同様に、比較したり統合したりといった認知スキルに関しての問いもほぼ見られなかった。こうした点をいかに織り込むか、あるいは織り込む必要があるかどうかという点が検討しなければならない課題として残る。

また、メディア・リテラシーの学力を考えるにあたって、産業構造からの読み解きも GCSE においては重要視されている。このことも、国語科における学習としてどのように織り込む必要があるかという点から合わせて検討しなければならない課題である。

## 5. 参考文献等

- AQA (2014) *GCSE Specification Media Studies and Media Studies (Double Award)*.  
 AQA (2012-2014) Past papers and mark schemes, and *Teacher Resource Bank: Exemplar Script*.  
 David Buckingham (2003) *Media Education*, Routledge  
 Ofqual (2011) *GCSE Subject Criteria for Media Studies*.  
 後藤康志 (2011) 「簡易版批判的思考尺度の開発」(『日本教育メディア学会研究会論集』、pp.7-10、日本教育メディア学会)  
 森本洋介 (2014) 『メディア・リテラシー教育における「批判的」な思考力の育成』、東信堂

### 【注】

- <sup>1</sup> 放送内容に関するルール。午後9時から午前5時30分以外は大人向け（アダルト）コンテンツを放送してはならないというもの。このルールに適合させることは、未成年の視聴者をターゲットとして設定することを意味する。
- <sup>2</sup> AQA の説明によれば、扱わなければならないメディアは以下のとおり

- 印刷出版と電子出版 新聞、マンガ、雑誌など
- 動画
  - ・ テレビ ジャンル研究、フランチャイズ、日取りなど。
  - ・ 映画 フィーチャー、短編、予告編、プロダクション、配給、公開、およびジャンル研究など。
  - ・ ビデオ PV、トレーニングビデオ、企業ビデオ。
- ラジオ コマーシャル、ネットラジオ、公共放送、コミュニティラジオ、など
- Webベースのテクノロジー／ニューメディア  
インターネット、Webデザイン、SNS、ブログ、ビデオブログ、ポッドキャスト、ゲーム、など。
- 宣伝とマーケティング 印刷物での宣伝、ラジオで、テレビで、映画で、予告編で、看板で、など。
- ポピュラーミュージック アーティスト・アンド・レパートリー(A&R)、販促、マーケティング、など。
- ニュース テレビ、新聞紙、インターネット、ラジオ、など。

(AQA (2014) *GCSE Specification Media Studies and Media Studies (Double Award)*, p.6 より筆者作成)

<sup>3</sup> AQA (2014) *GCSE Specification Media Studies and Media Studies (Double Award)*, p.7

<sup>4</sup> *Teacher Resource Bank: Exemplar Script*, <http://filestore.aqa.org.uk/subjects/AQA-4810-W-TRB-U01-A-STAR-EXEMPLAR-2012.PDF> (2016年1月31日最終閲覧) 以下、サンプル回答についてはこれを参照。

<sup>5</sup> *Teacher Resource Bank: Exemplar Script* には各問いに対する採点者のコメントが付されている。

<sup>6</sup> *Post-Standardisation*, <http://filestore.aqa.org.uk/subjects/AQA-48101-W-MS-JUN12.PDF> (2016年1月31日最終閲覧)。以下、各問いのループブリックに関してはこれを参照。